

一般質問



湯田 哲

議員

びわのかげ公園プールの水温上昇を

町長 〓 現在積極的な対応は考えていない

問

びわのかげ公園のプールは

今年度7、832人と多くの町民に利用されています。井戸水を使用しているため、水温は低く、太陽光発電と小水力発電装置を設置して、プールの水温を上昇させる考えはありませんか。

さらに、余剰電力は他の施設で利用したり、小規模な室内温水プールを併設して、水中運動による機能回復や温水リハビリに利用すれば、健康増進や医療費

削減につながると思い

ますが。エネルギー効率、費用対効果を考えると、現在、積極的な対応は考えていません。

町長

遊泳用プールの衛生基準で、水温は原則22℃以上と定められています。びわのかげ公園プールの過去2年間の平均水温は23℃です。新エネルギーでのプールの加温は、熱量、時間など相当量のエネルギー

びわのかげ運動公園の総合的なビジョンの策定に取り組んでおり、健康維持や医療費削減を目指した、施設全体を活用する検討をしています。



夏の暑さをプールで吹き飛ばす子どもたち

町全体が学校、新しい部活の誕生のサポートを

教育長＝新サークルの設立を支援

問

町を一つの学校として、体育協会や文化協会の団体、愛好会やサークルなどの活動は部活動と

考えます。町民に「あったら入りたい部活」を募集し、話し合いや活動場所の提供、空き店舗の利用など新しい部活の誕生をサポートするとともに、情報提供やアドバイスで活動を支援する考えは。

教育長

町内には文化活動、スポーツ活動、趣味・娯楽・レクリエーション活動など約130団体

が自己啓発や充実のため、自発的な意思でそれぞれに適した方法で活動しています。公民館事業では町民の要望にこたえた自主グループの育成や文化協会や体育協会等と連携した情報提供など団体の活動支援に努めています。

これから新しいサークル設立の支援はもとより、各種団体の紹介や参加しやすい環境づくりに努めます。